

嵯峨宏紀が最終ラウンドで待望の連勝をマーク! 千代勝正も初PP&2位表彰台を獲得 最高の集大成

アチーブメント全日本F3選手権第15戦&第16戦(第8ラウンド) オートポリス(4.674km)

2010年、ル・ボーセモータースポーツが挑むレースカテゴリーのひとつ、全日本F3選手権の今季最終ラウンドとなる第8ラウンド/第15戦&第16戦が10月16日(土)、17日(日)の両日、大分県・オートポリスで開催された。擁するドライバーは、Cクラスで「DENSO・ルボーセF308」を駆る嵯峨宏紀と、Nクラスで「BPダイシンルボーセF305」を駆る千代勝正のふたりだ。標高900mと高地にあるオートポリスだけに、周辺にはすすきが群生し、朝晩はかなりの冷え込みを見せるが、シリーズ最終戦にふさわしく両日ともに爽やかな秋晴れの下での戦いに。長かったシーズンを好結果で締め括るべく、チーム一丸となった好レースが期待された。



予選

10月16日(土) 天候/コース状況: 晴れ/ドライ

F1開催を視野に入れて建設されたオートポリスは、レイアウト的にはホームストレートも約900mと長く、加えて低速から高速まで、バラエティーに富んだ大小様々なコーナーを持った上、アップダウンの激しいチャレンジングなサーキット。テクニカルでタイヤの消耗が激しいコースとしても知られる難所であり、昨年のデータと今季続けてきたセットアップを組み合わせ、この戦いに照準を合わせてきた。

その成果は早くも金曜の練習走行で現れ、午前の走行では嵯峨が前戦同様トップタイムをマーク。午後のセッションでもタイムを上げての2番手と、充分な手応えを得て土曜日を迎えることとなった。一方千代も午前中に3番手と好位置につける。

土曜午前8時50分といつもより早い時間帯から行われた公式予選。気温14℃、路面温度21℃と肌寒いコンディションながら、タイヤの消耗が大きなコースだけにベストなアタックができるのは僅か1~2周のみとあって、2台ともに通常よりもやや長めにピットで待機してからのコースインとなる。

嵯峨は計測2周目に1分39秒735のトップタイムをマーク、さらに計測3周目には1分39秒500にタイムアップ。ライバル達との激しいタイムの応酬を展開すると、さらに計測4周目には1分39秒497とタイムを締め、結局第15戦予選は2番手とフロントローを獲得した。

千代は計測3周目に1分40秒945をマークしNクラストップに躍り出ると、チェッカー提示後のラストラップにはセクター1、2で速さをみせて、1分40秒889へとさらにタイムアップ。見事堂々の今季初ポールポジションをゲットした。

続く第16戦予選も約5分ほどしてからのピットアウトとなったが、2台ともに第15戦予選同様、上位陣との激しいアタック合戦を展開する。



嵯峨は計測3周目に1分39秒398をたたき出して2番手に浮上、さらにセッション残り2分を切った翌周には、1分39秒240へとタイムアップ。惜しくもその後ライバルのタイムアップによって第16戦は3番手に。しかし両レースともにアタックにミスもなく、好グリッドからのスタートを掴み獲った。

一方千代は計測3周目に1分40秒540をマーク、この段階でNクラスの2番手につけるが、結局3番手でこの第16戦予選を終えることに。連続ポールこそならなかったが、嵯峨同様上位グリッドを獲得し決勝での活躍に期待が掛かった。

決勝レース第15戦

10月16日(土) 天候/コース状況: 晴れ/ドライ

気温17℃、路面温度30℃と予選に比べると暖くなった午後3時20分、14周の第15戦決勝がスタートのときを迎えた。

1コーナーに対してアウト側の2番グリッドから好スタートを切った嵯峨は、1コーナーへの加速でポールポジションの山内を上回り、アウトから並び掛けるようにフェイントを仕掛けると、一気に山内のインを強襲。見事1コーナーでトップ浮上を果たす。

1周目に1秒6のマージンを稼ぐと、2周目には早くも1分41秒338の好タイムをマークして2番手の国本雄資(TOM'S)を引き離していき、1周目の1コーナー立ち上がりで起こったクラッシュ車両回収のため、3周目にセーフティカーが導入されることに。

8周目からのリスタート後もトップを譲らなかった嵯峨は、2番手に浮上してきた山内の攻勢をもとめせず、1分41秒148のファステストラップをも手中に収め、見事待望の初優勝。表彰台の頂上で勝利の美酒に酔うこととなった。

また、ポールポジションから好スタートを決めた千代は、トップのままオープニングラップを制すると、ポイントリーダーの小林崇志(HFDP RACING)に付け入る隙を与えずトップのままチェッカー。暫定表彰では表彰台の頂上に立ったが、レース後にセーフティカー先導中の車間に違反があったとして30秒加算のペナルティを受け、惜しくも4位となった。



決勝レース第16戦

10月17日(日) 天候/コース状況: 晴れ/ドライ

前日同様の秋晴れとなった日曜のオートポリス。午前10時35分からの今季最終戦は、20周と前日よりも長丁場の戦いとなるだけに、2台はタイヤの消耗を考慮して空力セットアップなどに調整を加えてスターティンググリッドに着いた。

今季最終戦、2列目、3番グリッドからのスタートとなった嵯峨。フロントローの2台の動き出しが鋭く、3番手のまま1コーナーへアプローチを開始も、立ち上がりで山内、国本の2台が接触、コースアウトする。

これによってトップに立った嵯峨は、2番手につけた関口雄飛(スリーボンドレーシング)を、コンマ数秒ずつ引き離していく完璧なレースを展開。15周目には最大5秒5にまでギャップを上げると、後半はタイヤを労わる走りに切り替え、ペースをコントロール。そのまま見事トップでチェッカーを飾り、今季最終ラウンドを連勝という最高の結果で締め括った。

一方、最終戦を3番グリッドからスタートした千代は、動き出しも鋭く予選2番手の小林をかかし、2番手で1コーナーへ。1周目の混乱もうまくかわした千代はトップの蒲生尚弥(トムスピリット)をコンマ数秒差で追走するも、最終的に一步届かず2位でのフィニッシュとなった。

Cクラスの嵯峨は優勝、Nクラスの千代は2位と、2台そろって表彰台に立ち、今季の集大成に相応しい週末で今季全日程を終えた。



Driver
嵯峨宏紀
Koiki SAGA
COMMENT

最終ラウンドということでなんとか良い結果を考えていましたが、連勝ということで最高の結果が出せました。予選ではコンディションが変化したことからポールに届かず残念でしたが、ミスもなくクルマの限界を引き出せたと思います。第15戦ではリスタート直後1コーナーでピンチもありましたが、F3での初めてのウイニングランは嬉しかったです。第16戦では幸運な展開もあり連勝できました。ここまで長かったですが、チームや支えてくださった方々に感謝致します。

Driver
千代勝正
Katsumasa CHIYO
COMMENT

土曜の予選ではようやく初ポールを獲得することができました。第15戦では自分の中では完璧なレースが出来たので、結果としては満足です。ペナルティは残念ですが、ルールはルールですから自分で反省して今後に繋げて行きたいと思います。第16戦ではスタート直後の攻防で、3コーナーでは蒲生選手、小林選手と3台で並ぶ状況になりましたが、自分は一番イン側でうまく走れました。その後蒲生選手を追いましたが、抜きどころの少ないコースとあってチャンスを作れなかったです。表彰台に立つことが出来、良い形で今季最終戦を終えられました。チームとスポンサーの方々に感謝したいと思います。

チーム監督
坪松唯夫
Tadao TSUBOMATSU
COMMENT

嵯峨はF3からの卒業レースという節目の最終大会で、両レースとも表彰台の中央に立てたことが喜ばしく、感動を覚えた。クルマと自分自身をコントロール下に置き、速く安定したラップタイムをマーク出来た事は、成長の証と言える。千代は金曜日午前中のアクシデントにより、午後の走行を走れなかったが予選では、走行不足を感じさせない素晴らしいタイムをマークした。第一レースではホンダチームからの抗議で優勝をさわられてしまつたが十分な速さを見せてくれた。

第15戦 決勝

Cクラス				
順位	車番	ドライバー	チーム	予選順位
1	62	嵯峨 宏紀	DENSO Team Le Beausset	2
2	5	山内 英輝	ハナシマレーシング	1
3	12	関口 雄飛	ThreeBond Racing	4
4	2	Alexandre Inperatori	TODA RACING	5
5	1	国本 雄資	PETRONAS TEAM TOM'S	3

Nクラス				
順位	車番	ドライバー	チーム	予選順位
1	8	小林 崇志	HFDP RACING	4
2	19	黒田 吉隆	ACHIEVEMENT by KCMG	5
3	6	吉田 広樹	ハナシマレーシング	9
4	63	千代 勝正	DENSO Team Le Beausset	1
5	22	佐々木 大樹	TEAM NOVA	6

第16戦 決勝

Cクラス				
順位	車番	ドライバー	チーム	予選順位
1	62	嵯峨 宏紀	DENSO Team Le Beausset	3
2	12	関口 雄飛	ThreeBond Racing	4
3	2	Alexandre Inperatori	TODA RACING	5
R	5	山内 英輝	ハナシマレーシング	1
R	1	国本 雄資	PETRONAS TEAM TOM'S	2

Nクラス				
順位	車番	ドライバー	チーム	予選順位
1	37	蒲生 尚弥	TOM'S SPIRIT	1
2	63	千代 勝正	DENSO Team Le Beausset	3
3	7	三浦 和樹	HFDP RACING	6
4	20	Gary Thompson	ACHIEVEMENT by KCMG	8
5	26	吉田 広樹	ハナシマレーシング	9

シリーズランキング

Cクラス			
順位	車番	ドライバー	ポイント
1	1	国本 雄資	139
2	12	関口 雄飛	81
3	36	Rafael Suzuki	78
4	62	嵯峨 宏紀	68
5	2	Alexandre Inperatori	52

Nクラス			
順位	車番	ドライバー	ポイント
1	8	小林 崇志	124
2	37	蒲生 尚弥	121
3	63	千代 勝正	66
4	23	佐藤 公哉	43
5	20	Gary Thompson	33

